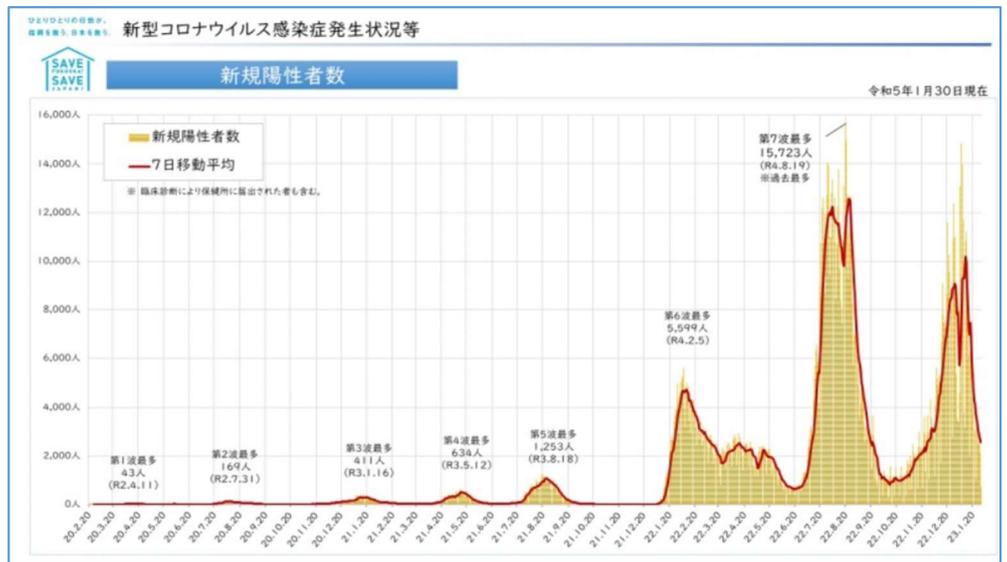


## 新型コロナウイルス・インフルエンザの感染状況

福岡県の新型コロナウイルス感染状況は、一番ひどかった頃よりは落ち着きつつありますが、依然として新規感染者数は、2000人超えが続いています。本校に至っては、先々週、月曜から陽性者数、濃厚接触者数、体調不良者数があわせて20名を超える状況となり、(木)(金)は休校とさせていただきました。翌月曜からはそれらの人数も大幅に減少している状況です。また、福岡県下では、インフルエンザが流行の兆しを見せ、それによる学級閉鎖が、昨日の時点で76学級と報道されました。今のところ本校では、インフルエンザの感染者は、ここ3週間で1~2名というところですが、いずれにしても油断はできません。インフルエンザの対策も基本的には、現在の新型コロナウイルスへの対応と変わりません。〇うがい、〇手洗い、〇消毒、〇マスク着用、〇換気がその柱になると思います。外出から帰宅した際には、十分気をつけてください。



## 生徒会新役員決まる。

右表のように生徒会執行部・専門部の役員が決まりました。コロナ禍のため、残念ながら任命式を行うことができませんでしたが、すでに毎朝校門で新役員のみなさんが私と一緒に「あいさつ運動」をしてくれています。全校生徒のみなさんも気持ちよく「あいさつ」を返してくださいね。

1学年通信より抜粋

## 朝の欠席・遅刻の連絡をQRコードからすることができます。(8:20まで)



2学年は12月から試行していましたが、1月からは全校で受け付けています。朝の欠席等の連絡は、電話でもスマホでも構いません。ご活用ください。本校のホームページにもQRコードを貼っています。

## 生徒会役員発表

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐ観点から、発表が遅れていましたが、先日代表挨拶という形でオンラインで行われました。以下が新役員のメンバーです。

執行部	2年生	1年生
会長	河内大和	
副会長	宮崎結衣	深堀瑠菜
書記	小松将大	桃坂真由
専門部	委員長	副委員長
学習	藤本帆乃花	川津結愛
生活	山口心翠	中村翔太
環境美化	中村未来	谷口舞優
保健給食	野田陽菜	松本寧々
文化図書	古門結花	中原 晶
体育	品川愛翔	倉成拓磨
	土肥さくら	坪根聖愛

4月には後輩を迎え、いよいよみなさんが学校の中心として動くようになります。代表になった人は、責任をもって自分の仕事をこなしてください。他の人も全員が生徒会メンバーである自覚をもって、代表の人たちと一緒に学校生活を盛り上げていきましょう。

# PTA「新」家庭教育宣言アンケート集計結果

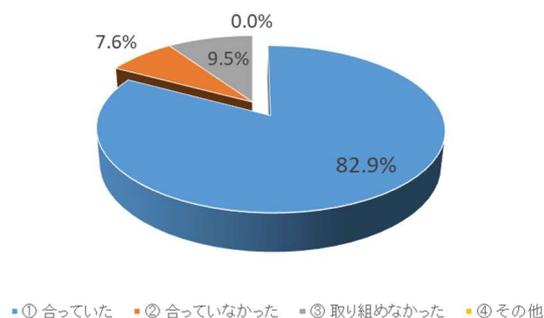
12月に本校のPTA「新」家庭教育宣言についての県PTA連合会からの保護者アンケートを実施しましたので、その集計結果をお知らせします。本校のここ3年間のテーマは、「ノーメディアチャレンジ」です。SNSやYouTube、TikTokといったメディアの強い影響が学習の弊害として叫ばれている今、せめて定期考査直前とその際中にだけでも、それを排除・制限し学習に取り組むきっかけとしてもらいたいということからこれを決めています。保護者のみなさん、アンケートへのご協力ありがとうございました。

**テーマが家庭の課題とあっていたか**については、約8割の保護者が課題と合致していると答えてくださっています。

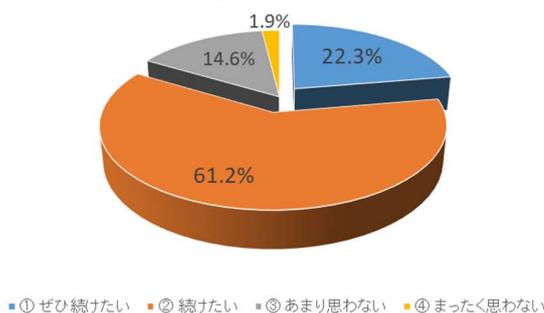
**取り組んで良かったこと**としては、「こどもと話をすることが増えた」「親自身の在り方を考える機会になった」「子どもが家の決まりを守るようになった」という成果が昨年と同様に多く示されました。

また、**今後も続けようと思うか**についても、83.5%の方が肯定的な回答をくださいました。最後に保護者のみなさんの声を一部紹介します。

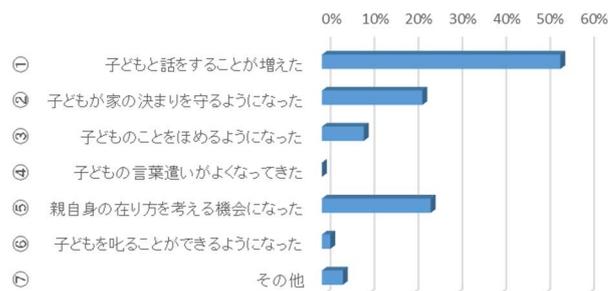
取り組んだテーマは家庭の課題とあっていたか



今回のテーマを今後も続けようと思うか



取り組んで良かったことは



- これからも家庭でしっかり取り組んでいきたい。
- 小学校とも連携しているので良いと思う。
- 改めて生活習慣を見直すことのできる取組だと思う。
- 子どもと話をする時間が増えた感じがしました。
- その時だけでも「できること」は良いと思う。
- 子どもも親も自分自身を見つめ直す素晴らしい取組だと思えます。今後も続けてほしい。
- 遊びから勉強へスイッチを切り替えるきっかけになってよかった。
- 期間中は、子ども自身も意識して取り組んでいるので良いと思う。
- テスト期間中にノーメディアチャレンジがあり良かったと思う。こういう取組がないとなかなか進んではいけないので。
- いつもより時間を決めて自分で頑張ってほしいです。今を超えられるように。
- なかなかこのような機会がないと取り組む習慣がつかないので、意識的にノーメディアに取り組むことができ子どもにとって効果的だと思う。
- うちは子どもとの会話がよくあります。ノーメディアチャレンジは必要ではないと感じます。でも必要である家もあると思うし、何とも言えないですね。

実は、本校のこの取組が評価され、1月に福岡市のアクロスであった県PTA主催の「まなび場」で本校の取組を実践発表してきました。橋本会長、本当にご苦労様でした。

